

# 学習課題（小学校3年生）



【国語】計画を立てて少しずつ取り組んでいきましょう。

## <勉強すること>

◆「俳句を楽しもう」（教科書85 ページ）」にとりくみます。ここでは、俳句を声に出して読み、ひびきやリズムに親しむことを大切にして学習しましょう。

俳句…五・七・五の十七音で作られた短い詩のこと。

ふつうは、「季語」という季節を表す言葉が入っています。

- ①「古池や…」「閑かさや…」で始まるそれぞれの俳句を声に出して読んだ後に、ノートや取組シートに俳句を書き写しましょう。
- ②それぞれの俳句は、どこで区切るとリズムが取りやすいでしょうか。①で書き写した俳句に線を引いてみましょう。
- ③それぞれの俳句で季節を表す言葉「季語」はどれですか。①で書き写した俳句から言葉を選び、丸をつけましょう。
- ④「五・七・五」のリズムに合わせて音読してみましょう。
- ⑤二つの俳句のうち、気に入った俳句を何度も音読しましょう。何も見ないで音読すること（暗唱）を目標にしてみましょう。
- ⑥暗唱した俳句をお家の人に聞いてもらいましょう。

書き方の例

古池や

蛙

飛びこむ

水の音

◆97 ページで学習する新出漢字（終～式まで）をノートに練習します。

例：①155 ページを見て、書き順を指で書いてみましょう。

②読み方・使い方を声に出して、言ってみましょう。

③漢字をノートに書きましょう。

④出てきた漢字を使って、文を作りましょう。

## <保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・今回の学習で初めて俳句を学びます。どこで区切って読むと、調子よく読むことができるかを考えながら読むことが大切です。
- ・何度も何度も声に出して読むことで、言葉の響きやリズムに親しむことができます。十七音の中に表されている、自然の様子やそこから感じられることを味わえると、すばらしいです。